

は し が き

レントゲンが X 線を発見したのは1895年である。それ以来、放射線は広く利用されるようになるとともに、放射線の益と害が調査研究されてきた。今から2年後の1995年には X 線発見100周年を迎え、レントゲンが生まれたドイツでは国際放射線研究会議を始め、多くの催しが計画されている。原子力が始めて利用されたのは残念なことであるが、X 線発見の50年後の1945年、広島・長崎の原爆である。1976年、東海村で原子力発電所が日本で始めて運転を始めたが、いまだに原子力の平和利用が日本人の心には定着していない。同じ2年後の1995年には原爆被災50周年を迎える。この2年間で原爆医学研究の反省と将来を展望することになろう。

原爆被災学術資料センター長 奥村 寛